



Takashi Sato



Kazushi Saito

Takashi Sato Schubert-Zyklus

# 佐藤卓史 シユーベルトツイクルス

ピアノ曲全曲演奏会

## 第17回 変奏曲

— シューベルティアーデの仲間たち —

ゲスト：斎藤和志(フルート) \*

フランツ・シューベルト：

あるメヌエットの放蕩息子とおぼしきトリオ ハ長調 D610 (1818)

ドイツ舞曲とエコセーズ D643 (1819)

アルバムの綴り(ワルツ) ト長調 D844 (1825)

ヒュッテンブレンナーの主題による13の変奏曲 イ短調 D576 (1817)

ディアベリのワルツによる変奏 ハ短調 D718 (1821)

アレグロ・モデラート ハ長調 D347 (1813?)

[未完・佐藤卓史による補筆完成版]

アンダンティーノ ハ長調 D348 (1816?)

[未完・佐藤卓史による補筆完成版]

「しばめる花」の主題による序奏と変奏曲 ハ短調 D802 (1824) \*

2022年 10月 6日(木) 18:30開場 18:45プレトーク  
19:00開演

東京文化会館小ホール

入場料(全席自由)：一般4,500円 学生2,500円

design by MAI KUDO

後援：株式会社ヤマハミュージックジャパン 鍵盤マーケティング部 ピアノ・EKBマーケティング課 ベーゼンドルファージャパン、  
株式会社河合楽器製作所、島村楽器株式会社、月刊ショパン、一般社団法人 日本ピアノ調律師協会、  
一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)、国際フランツ・シユーベルト協会、フランツ・シユーベルト・ソサエティ、  
東京藝術大学音楽学部同声会、東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校響親会

マネジメント・お問い合わせ：アスペン 03-5467-0081

チケット取扱：アスペン 03-5467-0081 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

チケットぴあ t.pia.jp (Pコード:218-079) 佐藤卓史公式ウェブサイト [www.takashi-sato.jp](http://www.takashi-sato.jp)

Aspen

## 佐藤卓史シーベルトツィクルスとは…

第11回シーベルト国際ピアノコンクールの覇者佐藤卓史が2014年にスタートした、フランス・シーベルトのピアノ関連器楽曲（独奏曲、連弾曲、室内楽曲）のすべてを網羅的に演奏するプロジェクトです。最新の研究成果を駆使しての知的な洞察、独自の観点からの未完作品の補筆など、作曲家への愛情と共に溢れた新しいシーベルトの世界を提示しています。

## 使用楽器は「ベーゼンドルファー・インペリアル」。

ベーゼンドルファー社はシーベルトが他界した1828年にウィーンで創業、以来世界有数のピアノメーカーの一角に君臨し続けています。昔ながらの手づくりにこだわり、鉄骨フレームではなく木製の外枠で弦の振動を増幅させる設計は、他のピアノとは全く異なるベーゼンドルファーだけの特徴。これによって生まれるまろやかな音色は「ウインナ・トーン」と呼ばれ、シーベルトに代表されるウィーンの音楽との相性は抜群です。なかでもフラッグシップモデルの「290」は、通常のピアノよりも低音域が9音拡張され、97の鍵盤を持つ大型コンサートグランド。拡張された9鍵は、普段は演奏されることはありませんが、低音弦の共鳴により深く温かい響きを湛え、「インペリアル」の愛称で親しまれています。



## 仲間たちをあつとさせた「変奏曲」。ゲストはフルートの鬼才・斎藤和志！

モーツアルト、ベートーヴェン、ブラームスといった変奏曲の大家たちが時に他人の主題や流行の旋律をもとに変奏を繰り広げたのに対して、シーベルトはもっぱら自作の歌曲を主題に選んでいます。連作歌曲「美しき水車屋の娘」の『しばめる花』の主題による変奏曲D802は、シーベルト作品中唯一の「フルート+ピアノ」という編成。現代音楽のスペシャリストとしても知られる超絶フルーティスト・斎藤和志の圧倒的な技巧が炸裂します。ほかに同門の作曲家仲間のテーマを用いた「ヒュッテンブレンナーの主題による変奏曲」D576や、そのヒュッテンブレンナーの弟に贈った舞曲、さらにはベートーヴェンの「ディアベリ変奏曲」と同じ主題にシーベルトが書いたハ短調の変奏、未完の小品の補筆完成版など、珍曲も盛り沢山。シーベルティアーデの仲間たちを驚かせたシーベルトの“演奏技巧”へのこだわりが垣間見えることでしょう。

開演15分前からの佐藤卓史によるプレトークもお楽しみに。

詳しくは連動ブログで！

シーベルティアーデ電子版

検索



◀schubertzyklus.blog.fc2.com

## Profile

### 佐藤卓史(さとう・たかし) Takashi Sato, Pianist

2007年第11回シーベルト国際コンクールでの優勝と、その後の世界各地での演奏活動により“現代隨一のシーベルト弾き”としての国際的名声を確立。高校在学中の2001年、第70回日本音楽コンクールで優勝し一躍注目を浴びる。東京藝術大学を首席で卒業後渡欧、ドイツ・ハノーファー音楽演劇大学ならびにウィーン国立音楽大学で研鑽を積む。その間、2006年ミュンヘンARD国際コンクール特別賞、2008年シドニー国際コンクール第4位・最優秀ショパン演奏者賞、2010年エリザベート王妃国際コンクール入賞、2011年カントゥ国際コンクール第1位、メンデルスゾーン国際コンクール最高位など受賞多数。N響、東響、日本フィル、神奈川フィル、大阪響、広島響、ベルギー国立管など内外のオーケストラと共に演奏を重ねている。2007年にデビューアルバム「ラ・カンパネラ～珠玉のピアノ小品集」(ナミ・レコード)をリリースして以来、レコーディング活動にも積極的に取り組んでおり、シーベルト作品集(ドイツ・BELLA MUSICA)、ショパン作品集(ナミ・レコード)、ベートーヴェンソナタ集(Tactual Sound)など多数のソロアルバムを発表。近年は作編曲の分野でも活躍し、2021年には初のオリジナル作品集CD「《ラクリメ》変奏曲～佐藤卓史:2台ピアノ作編曲集」(ナミ・レコード)をリリースした。国際フランス・シーベルト協会会員。

佐藤卓史公式ウェブサイト ▶ [www.takashi-sato.jp](http://www.takashi-sato.jp)



### 第17回公演ゲスト

#### 斎藤和志(さいとう・かずし) Kazushi Saito, Flötist

東京藝術大学卒。第5回神戸国際フルートコンクール第4位、第70回日本音楽コンクール第1位及び加藤賞、E・ナカミチ賞受賞。第4回びわ湖国際フルートコンクール第1位。これまでに、パウル・マイゼン、金昌国、佐久間由美子、中川昌巳、中野富雄、三上明子、山崎成美の各氏に、またジャズ音樂を菊地康正、太田朱美、土井徳浩、池田篤の各氏に師事。現在、東京フィルハーモニー交響楽団首席奏者。現代音樂の演奏にも力を注いでおり、現代音樂演奏グループ「東京シンフォニエッタ」では副代表を務め、国際的に高い評価を得ている。クラシック音樂のみならず、ジャズやその他さまざまなジャンルの音樂、映像、舞踊、美術などのコラボレーション、また自身作曲・編曲も行い、即興演奏も含め、幅広いレパートリーを持つ。2006年度アリオン音樂財団奨励賞受賞。東京藝術大学、国立音楽大学、洗足音楽大学非常勤講師。レッシュ4スタンス理論マスター級トレーナー。